

しっかりと立って、動じないようにする

「私の愛する兄弟たち、しっかりと立って、動じ[ないように]してください」。[コリント第一 15:58](#)

[122 番の歌](#) 摆らぐことなく勝利を得る

何を学ぶか*サタンはアダムとエバの時代から、何が正しくて何が間違っているかは自分で決めればいいという考えを広めています。そして、エホバのおきてや組織の指示についてもそのような見方をするよう仕向けてきます。サタンが世の中に広めている考えに影響されないようにするには、どうしたらいいでしょうか。また、どんな時もエホバに従い続けるという決意を強めるために何ができますか。

1-2. クリストランは、高層ビルのどんな特徴に注目することができますか。 ([コリント第一 15:58](#))

1970年代の終わりごろ、東京に60階建ての超高層ビルが建てられました。人々は、頻繁に起きた地震に耐えられるんだろうかと思いました。でも、このビルは頑丈でありながらも揺れを吸収できるように設計されていました。私たちクリストランも、この建物のようになる必要があります。どうしてそう言えますか。

2クリストランは、確固とした態度と柔軟性のバランスを取る必要があります。エホバのおきてや基準を守ることに関しては、動じない強さが必要です。 ([コリント第一 15:58](#) それで、私の愛する兄弟たち、しっかりと立って、動じることなく、主の活動をいつも活発に(*たくさん)行ってください。皆さんが知っているように、主のために働くことは無駄ではないのですを読む。) 「進んで従い」、妥協することはしません。その一方で、状況が許す時や必要が生じた場合には「分別」を示し、柔軟である必要があります。 ([ヤコ 3:17](#) 一方、天からの知恵を持つ人は、第一に清く、次いで平和を求め、分別があり、進んで従い、憐れみと良い実に満ち、差別をせず、偽善的ではありません) こうしたバランスが取れているなら、過度に厳しくなったり、何でも許容したりはしないはずです。この記事では、①どうすれば動じないでいられるかについて学びます。また、②サタンが私たちの決意を弱めるために使う5つの方法と、③どうすればサタンからの攻撃に立ち向かえるかも考えます。

どうすればしっかりと立つことができるか

3. [使徒 15 章 28, 29 節](#)によると、エホバはどんなおきてを与えていますか。

3法を定める面で最高の権威を持っているエホバは、ご自分に仕える人たちにはつきりとしたおきてを与えてきました。 ([イザ 33:22](#) エホバは私たちを裁く方、エホバは私たちのために法を定める方、エホバは私たちの王。私たちを救ってくださる方である) 例えば、1世紀の統治体は、クリストランがしっかりと立つべき3つの大切な点を挙げています。 (1) 偶像崇拝をきっぱり避け、エホバだけを崇拜すること、(2) 血の神聖さに関するエホバのおきてを守ること、(3) 聖書に書かれている高い

道徳基準に従うことです。 (使徒 15:28, 29) というのは、聖なる力によって私たちは、次の必要な事柄以外、皆さんに何の重荷も加えないのがよいと考えたからです。 29 すなわち、偶像に犠牲として捧げられた物、血、絞め殺された動物、性的不道徳を避けていることです。これらのものから注意深く身を守っていれば、さんは穏やかに暮らせます。健やかにお過ごしくださいを読む。) では、現代のクリスチャンはこうした 3つの点でどのようにしっかりと立つことができるでしょうか。

4. 全くの専心を持ってエホバを崇拜するとはどういうことですか。 (啓示 4:11)

4 偶像崇拜をきっぱり避け、エホバだけを崇拜する。 エホバはイスラエル人に、全くの専心を持ってご自分を崇拜するようにと命じました。 (申 5:6-10 私はあなたの神エホバである。奴隸となっていたあなたをエジプトから連れ出した。 7 あなたは私以外の(*私に反抗して/d 私の顔に逆らって)どんなものも神としてはならない。 8 あなたは、天や地や水の中にあるものに似たどんな彫刻像や形も作ってはならない。 9 それにひれ伏してはならず、誘われてそれを崇拜してもならない。あなたの神である私エホバは全くの専心を要求する神である。私を憎む人については、父の過ちに対する処罰を子や孫やひ孫に及ぼす。 10 私を愛して私のおきてを守る人については、子孫千代にまで搖るぎない愛(*愛ある親切)を示す) イエスは悪魔から誘惑された時、エホバだけを崇拜しなければならないと答えました。 (マタ 4:8-10 さらに、悪魔はイエスをとりわけ高い山に連れていく、世界の全ての王国とその栄光を見せて、9 言った。「ひれ伏して私を崇拜するなら、これら全てをあげましょう」。 10 その時、イエスは言った。「離れ去れ、サタン！『あなたが崇拜すべきなのはエホバ神であり、この方だけに神聖な奉仕をしなければならない』と書いてあるのです」) 私たちも偶像を崇拜することは決してしません。 宗教指導者や政治家、スポーツ選手や芸能人を神のように見なして崇拜することもしません。 エホバにしっかりと従い、「全てのものを創造された」エホバだけを崇拜します。 (啓示 4:11 私たちの神エホバ(*), あなたは栄光と榮譽と力を受けるのにふさわしい方です。あなたが全てのものを創造されたからです。全てのものは、あなたの意志によって存在するようになり、創造されましたを読む。)

5. 私たちが血を避けるべきなのはどうしてですか。

5 命と血の神聖さに関するエホバのおきてを守る。 このことはどうして大切でしょうか。聖書によると、血は貴重な贈り物である命を表しているからです。 (レビ 17:14 あらゆる生き物の命はその血であり、命が血の内にあるのである。そのため私はイスラエル人にこう言った。「どんな生き物の血も食べてはならない。あらゆる生き物の命はその血だからである。血を食べる人は皆、除かれる」) エホバは動物の肉を食べることを初めて許した時、血を食べてはいけないと言いました。 (創 9:4 ただし、血を含む肉を食べてはならない。血は命だからである) イスラエル人にモーセの律法を与えた時にも同じことを命令しました。 (レビ 17:10 イスラエルの民や、あなたたちの間に住んでいる外国人の誰かが、何らかの血を食べるなら、私は血を食べているその人に必ず厳しい顔を向け、その人を民の中から除く) そして、1世紀にも統治体を通して、「血……を避けている」ようにと全てのクリスチャンに命じました。 (使徒 15:28, 29) というのは、聖なる力によって私たちは、次の必要な事柄以外、皆さんに何の重荷も加えないのがよいと考えたからです。 29 すなわち、偶像に犠牲として捧げられた物、血、絞め殺された動物、性的不道徳を避けていることです。これらのものから注意深く身を守っていれば、さんは穏やかに暮らせます。健やかにお過ごしください) それで私たちも、どんな医療を受けるかについて決める時、この命令にしっかりと従います。 *血に関する神の見方について詳しくは、「いつまでも幸せに暮らせます」の本のレッスン 39 を参照。

6. エホバの道徳基準に従うためにどんな努力をする必要がありますか。

6 エホバの高い道徳基準にしっかりと従う。 ([ヘブ 13:4](#) 結婚は全ての人に尊ばれるべきであり、夫婦の関係は汚れないものであるべきです。神は性的に不道徳な人(ギ語ポルネイアの訳で、この語は聖書の中で、神に禁じられた性的な行動を指して使われている。姦淫、売春、結婚していない人同士の性関係、同性愛、獸姦などが含まれる。「啓示」の書では比喩的な意味で使われ、「大いなるバビロン」と呼ばれる宗教上の娼婦が権力や利益を得ようとして世界の支配者たちと関係を持ったことを表している)や姦淫をする人を断罪するからです) パウロは、間違った欲望を除き去ることの大切さを教えるために、体の各部をいわば「殺しなさい」と言いました。これはつまり、思い切った行動を取る必要があるということです。私たちは、性的不道徳につながるようなものを一切避けます。 ([コロ 3:5](#) ですから、性的不道徳(ギ語ポルネイア)、汚れ、奔放な性欲、有害な欲望、また貪欲つまり偶像崇拜に陥らないよう、地上の体の各部をいわば殺しなさい。[ヨブ 31:1](#) 私は自分の目と契約を結んだ。だから若い女性に対して不適切な関心を向けることなどできない) 誘惑を感じる時には、エホバとの絆を傷つけるような考えや行動をすぐに退けるようにしましょう。

7. どんなことを決意するのは大切ですか。どうしてですか。

7 エホバは、私たちが「心から従順にな[る]」ことを願っています。 ([ロマ 6:17](#) 神に感謝すべきことに、かつて罪の奴隸だった皆さんは、今では神から与えられた教えの型に心から従順になりました) エホバのおきては絶対的なもので、誰にも変えることができません。でも、大切な点として、エホバの教えはいつでも私たちのためにになります。 ([イザ 48:17, 18](#) あなたを救う(d*買い戻す)方、イスラエルの聖なる方、エホバはこう言う。「私エホバは、あなたの神である。あなたのためになる生き方を教え、あなたを導いて正しい道を歩ませる。 18 あなたが私のおきてに注意を払いさえすれば！ そうすれば、あなたの平和は川の流れのように豊かになり、あなたの正しい行いは海の波のように多くなる。[コリ一 6:9, 10](#) 正しくない人が神の王国を授けられることはない、ということを知らないのですか。思い違いをして(*だまされて)はなりません。性的に不道徳な人(*), 偶像を崇拜する人、姦淫をする人、同性愛行為に身を任せる人(同性愛行為において女役をする男性のことと考えられる)、同性愛にふける人(d 男性と寝る男性/同性愛行為において男役をする男性のことと考えられる)、10 盜む人、貪欲な人、酩酊する人、ののしる人、脅し取る人が神の王国を授けられることはありません) 私たちはエホバに喜んでいただくためにできる限りのことをしたいと思います。詩編作者はこう言いました。「私は決意を固めた。どんな時も最後まであなたの規定に従うと」。 ([←詩 119:112](#)) 私たちも同じ態度を示したいものです。とはいって、サタンは私たちの決意を弱めようとしています。どんな方法を使うのでしょうか。

サタンが使う方法

8. サタンは迫害によって、私たちの決意をどのように弱めようとしていますか。

8 **迫害。** サタンは私たちの決意を弱めようとして、身体面でも感情面でも攻撃してきます。サタンの狙いは、私たちを「むさぼり食[い]」、エホバとの絆を壊すことです。 ([ペテ一 5:8](#) 頭がさえた状態(*鋭敏な感覚/冷静さ)を保ち、油断なく見張ってください。敵である悪魔が、ほえるライオンのように歩き回って、誰かをむさぼり食おうとして(*むさぼり食おうと探して)います) 実際、1世紀のクリスチヤンは確固とした態度を保ったために、脅されたり打ちたたかれたり殺されたりしました。 ([使徒 5:27, 28](#) こ

うして使徒たちは連れてこられ、サンヘドリンの前に立たされた。大祭司が質問して、28言った。「もうあの名に
よって教えてはならないときっぱり命じたのに、あなたたちはエルサレム中で教えを広め、あの男が死んだ責任を私
たちに負わせようとしている」、40皆はガマリエルの意見を受け入れ、使徒たちを呼び出して打ちたたき、イエス
の名によって語るのをやめるようにと命じてから去らせた;7:54-60これを聞いた人たちは、心の中で激怒し、ステ
ファノに向かって歯ぎしりし始めた。55しかしステファノは聖なる力に満ち、天を見つめて、神の栄光と神の右に
立つイエスを目にし、56こう言った。「見てください。天が開いて、人の子が神の右に立っているのが見えます」
。57すると彼らは力の限り叫び、手を耳に当て、彼に向かって一斉に突進した。58そして町の外に追い出した後、
石打ちにし始めた。ステファノを訴えた証人たちは外衣をサウロという若者の足元に置いた。59そして石を投げ続
けた。ステファノは、「主イエス、私の命を受け取ってください」と訴えた。60それからひざまずき、強い声で、
「エホバ、この罪を彼らに負わせないでください」と叫んだ。そう言ってから、死の眠りに就いた)サタンは今
でも迫害を続けています。その証拠に、ロシアなどの国で兄弟姉妹がひどい扱いを受けています
。また、身近な人からの反対や迫害を経験している兄弟姉妹もたくさんいます。

9. 巧妙な攻撃に注意が必要なことは、どんな例から分かりますか。

9 巧妙な攻撃。サタンは、迫害という正面攻撃に加えて、「策略」を使うこともあります。(エ
フェ 6:11 悪魔の策略(*する賢い行為)にしっかり立ち向かえるように、神からの武具を全て身に着けましょう) ボ
ブ兄弟の例を考えてみましょう。兄弟は大きな手術を受ける必要があったので、どんな状況でも
輸血を受け入れることはできない、と医師たちに伝えました。外科医は兄弟の決定に理解を示
してくれました。でも、手術の前の晩、家族が家に帰った後、麻酔科医が訪ねてきました。そして
こう言いました。「多分輸血はしないと思うけど、万が一に備えて準備はしておきますね」。も
しかするとこの医師は、家族がいなければボブ兄弟は考えを変えると思ったのかもしれません。
でも、兄弟はどんな状況になっても輸血を受け入れることはしないと言って、確固とした態度を
貫きました。

10. 神を無視した考え方方が危険なのはどうしてですか。 (コリント第一 3:19, 20)

10 神を無視した考え方。世間一般の見方に影響されると、私たちもエホバやエホバの基準を気に
留めなくなるかもしれません。(コリント第一 3:19, 20 この世の知恵は神にとって愚かなものだから
です。「神は、賢い人がその人自身のする賢さに捕らわれるようになります」と書かれています。20 「エホバ(*)は、賢
い者たちの考え方がむなしいことを知っている」ともありますを読む。)「この世の知恵」は、間違った欲
望に従って行動するよう仕向けてきます。ペルガモンやテアテラの一部のクリスチヤンは、偶像
崇拜や不道徳な行いをしていた人たちの影響を受け、性的不道徳を容認するまでになっていました。
それでイエスは、この2つの会衆に強い助言を与えました。(啓 2:14 しかし、とがめるべき点が
幾つかあります。あなたの所にはバラムの教えを固く守っている人たちがいます。バラムの教えを受けたバラクは、
イスラエル人が罪を犯すように仕向けました。彼らが偶像に犠牲として捧げられた物を食べ、性的に不道徳な行為(*)
をするようにしたのです、20 しかし、とがめるべき点があります。あなたがあのイゼベルのような女性を容認して
いることです。彼女は女預言者だと自称し、私の奴隸たちを教えて惑わし、性的に不道徳な行為(*)をさせ、偶像に犠
牲として捧げられた物を食べさせています)私たちも間違った考え方の影響を受ける危険があります。

家族や友達が感情に訴えて、妥協させようとしてくるかもしれません。例えば、「自分のしたいようにすればいい」とか、「聖書の道徳基準は時代遅れだ」とか言われるかもしれません。

11. どんなことを避ける必要がありますか。

11 エホバからの指示がはっきりしていないように感じることがあるでしょうか。そのような場合、「書かれている事柄を越え」そうになるかもしれません。（コリー 4:6 さて、兄弟たち、私は皆さんのために、こうしたことを私とアポロに当てはめて(*置き換えて)論じてきました。「書かれている事柄を越えてはならない」という点を学んでもらい、皆さんが高い上がって人をひいきしたり見下したりすることのないためです）
イエスの時代の宗教指導者たちは、この点で大きな間違いを犯しました。神の律法に人間が作った規則を加えることによって、人々に重い負担を負わせていたのです。（マタ 23:4 重い荷をくくつて人の肩に載せますが、自分ではそれを指で動かすともしません）エホバは私たちに聖書や組織を通してはっきりとした指示を与えてくださっています。ですから、私たちは何かを付け加えるべきではありません。（格 3:5-7 心を尽くしてエホバに頼れ。自分の考え(*理解)に頼ってはならない。6 どんな道を行く時にも神のことを考えよ。そうすれば神が真っすぐに進ませてくださる。7 自分は賢いと思ってはならない。エホバを畏れ、悪から離れよ）それで、聖書に書かれている事柄を越えたり、個人的な事柄について規則を作り押し付けたりしないようにします。

12. サタンは「中身のない欺き」をどのように使っていますか。

12 **欺き。** サタンは「中身のない欺き」や「世の理念」を使って、人々を間違った方向に導き、分裂させています。（コロ 2:8 哲学や、中身のない欺きにより、誰かに捕らわれてしまうことがないよう気付けてください。そうしたものは人間の伝統や世の理念(*基礎的な事柄)に基づいており、キリストを源とするものではありません）1世紀には、聖書に沿わないユダヤ教の教えや哲学を使いました。クリスチャンはモーセの律法に従わなければいけないという考え方も広がっていました。人々はこうしたものにだまされ、真の知恵の源であるエホバから目をそらしていました。現代でもサタンは、メディアやインターネットを使って、陰謀論や権力のある人が発信する間違った情報を広めています。最近のパンデミック中にも、こうしたものが多く見られたのではないでしょうか。* jw.org の「間違った情報に気を付ける」という記事を参照。でも、このような情報に耳を傾けた人たちとは違い、エホバの組織の指示に従った人たちは不必要な心配や不安を抱えずに済みました。（マタ 24:45 主人が召し使いたちに適切な時に食物を与えるため、彼らの上に任命した忠実で思慮深い奴隸はいったい誰でしょうか）

13. 気を散らすものに注意すべきなのはどうしてですか。

13 **気を散らすもの。** 私たちは、「より重要なこと」から目をそらさないようにする必要があります。（フィリ 1:9, 10 私はこう祈り続けています。皆さんに正確な知識と十分な識別力を得て、いっそう愛の豊かな人になれますように。10 皆さんがより重要なことを見極め、キリストの日までずっと純粋でいて、人の信仰を妨げることがありませんように）気を散らされると、大切な時間やエネルギーを奪われてしまうことになるからです。おいしいものを楽しむこと、気晴らし、仕事などが生活の中で一番大切になつていかないでしょうか。こうした日常の事柄でさえ、気を散らすものになる可能性があります。（ルカ 21:34, 35 とはいっても、食べ過ぎや飲み過ぎや生活上の心配事(*暮らしのための心配事/日常生活の心配)で心が

圧迫されないよう注意していなさい。そうでないと、その日が全く突然に訪れます。35 わなのようにです。その日は地上の全ての人に訪れます) また、社会問題や政治問題についてのニュース報道を毎日見聞きするかもしれません。こうした議論に気を散らさないようにする必要があります。気を付けていないと、心の中でどちらかを支持するようになってしまふかもしれません。サタンはこうした方法を使って、正しいことを行おうとする私たちの決意を弱めようとしてきます。では、どうすればサタンからの攻撃に立ち向かい、しっかりと立ち続けることができるでしょうか。

どうすればしっかりと立ち続けることができるか



しっかりと立つためには、献身しバプテスマを受けた理由をじっくり考え、聖書を学んで思い巡らし、揺るぎない心を持ち、エホバを信頼することが大切。(14-18節を参照。)

14. エホバの側にしっかりと立ち続ける上で、どんなことが助けになりますか。

14 献身しバプテスマを受けた理由をじっくり考える。あなたは、エホバに仕え続けたいという気持ちから、この重要なステップを踏んだことでしょう。真理を見つけたと確信することができたのはどうしてだったでしょうか。エホバについて知るにつれて、エホバを愛し、尊敬するようになったはずです。だんだんと信仰が育っていき、それまで行ったことを悔い改めました。良い習慣をやめ、エホバの考えに沿った生き方をしたいと思うようになりました。そして、エホバが許してくださったと実感して、とても安心したことでしょう。(詩 32:1, 2 違反を許され、罪を覆われる(*許される)人は幸せだ。2 エホバから罪があると見なされない人、誰かを欺こうとしない人は幸せだ) 集会に出席し、学んだことをほかの人に伝えるようになりました。今では、献身しバプテスマを受けたクリスチャンとして、命に至る道を歩み続けたいと思っています。(マタ 7:13, 14 狹い門を通って入りなさい。滅びに至る門は広くてその道は広々としており、それを通って入っていく人は多いからです。14一方、命に至る門は狭くてその道は狭められており、それを見つける人は少ないのです)

15. 聖書を学んで思い巡らすことが大切なのはどうしてですか。

15 聖書を学んで思い巡らす。根を深く張った木がしっかりと立っていられるのと同じように、私たちも聖書に基づいた信仰があるならしっかりと立つことができます。木は成長するにつれて、根が深くまで広がっていきます。私たちも、聖書を学んで思い巡らすなら信仰が強まります。エホバの方法に従うなら必ず良い結果になる、という確信も強まります。(コロ 2:6, 7 皆さんは主である

キリスト・イエスを受け入れたのですから、キリストと結ばれて歩み続けてください。7教えられた通り、キリストに根を下ろし、自分をキリストの上に建て、揺るぎない信仰を持ち、感謝にあふれましょう）エホバがご自分に仕える人たちをどのように教え、導き、守ってきたかについて考えるようになります。例えば、エゼキエルは幻の中で、天使が神殿を細かく測っていく様子に注目しました。この幻によってエゼキエルの信仰は強まりました。私たちも、清い崇拜に関するエホバの基準を守ることについて大切な点を学べます。*詳しくは「エホバの清い崇拜ついに回復される！」の本の第13章と第14章を参照（エゼ 40:1-4私たちが捕囚にされて25年目の初め、第1の月の10日、都市(エルサレムのこと)が陥落してから14年目のその日に、エホバの力が私に働き、私は都市に連れていかれた。2神は幻の中で私をイスラエルに連れていき、非常に高い山の上に下ろした。南の方に都市のようなものがあった。3そこに連れていかれると、私は1人の人を見た。その姿は銅のように輝いていて、亜麻の綱とアシの物差しを持ち、門の所に立っていた。4その人は私に言った。「人の子よ、よく見て、注意深く聞き、私が見せるもの全てに注意を払いなさい。あなたはそのためるために連れてこられたからです。あなたが見ることを全部イスラエル国民に話しなさい」；43:10-12人の子よ、イスラエル国民が自分たちの過ちのために恥じるよう、この神殿について彼らに詳しく話しなさい。彼らは神殿の設計を学ばなければならない。11彼らが自分たちの行いを恥じるなら、彼らに神殿の設計、すなわち配置や出入り口を知らせなさい。神殿の設計と法令、また律法を全て示し、彼らの目の前で書きなさい。彼らが設計の全てに注意を払い、法令を守るようになるためである。12これが神殿の律法である。山頂の周囲全体は極めて聖なるものである。これが神殿の律法なのである）このように聖書の深い真理を学んでじっくり考えることは私たちのためになります。

16. 揺るぎない心はボブ兄弟にとってどのように助けになりましたか。（詩編 112:7）

16 揺るぎない心を持つ。ダビデはエホバを愛し続けるという決意を次のように歌いました。「神よ、私の心は揺らぎません」。（詩 57:7私の心は揺らぎません。神よ、私の心は揺らぎません。私は歌い、音楽を奏でます）私たちも揺るぎない心でエホバに頼ることができます。（詩編 112:7悪い知らせを恐れない。揺るぎない心でエホバに頼るを読む。）先ほどのボブ兄弟にとって、このことはどのように助けになったでしょうか。万が一に備えて輸血の準備をしておくと言われた時、兄弟はすぐに、「輸血される可能性が少しでもあるなら、この病院を出ていく」と答えました。後に兄弟は、「何の迷いも不安もありませんでした」と言っています。



強い信仰があるなら、どんな問題が生じてもしっかり立っていられる。（17節を参照。）

17. ボブ兄弟からどんなことを学べますか。（写真と挿絵も参照。）

17 ボブ兄弟は、入院するずっと前から決意を固めていたので、しっかりと立つことができました。どんなことが助けになったのでしょうか。まず、①エホバに喜ばれることをしたいと思っていました。そして、②命や血の神聖さについて、聖書や出版物を使ってよく調べました。さらに、③エホバの指示に従うことがいつまでも続く幸せにつながるということを確信していました。私たちも、どんな問題にぶつかっても揺らがない心を持つことができます。



巴拉クと兵士たちが、勇気を持ってシセラの軍隊を追い掛けている。（18節を参照。）

18. エホバを信頼することについて、巴拉クからどんなことを学べますか。（表紙の絵を参照。）

18 エホバを信頼する。巴拉クの例を考えてみましょう。イスラエルの兵士には盾も小やりもありませんでした。でもエホバは、女預言者のデボラを通して、シセラが率いる強力なカナン軍に向かって出ていくようにと巴拉クに言いました。（裁 5:8 民は新しい神々を選んだ。その時、町の門の中で戦いがあった。イスラエルの4万人の中には盾も小やりも見えなかった）さらに、平原に下りていくようにと命じます。900両の戦車を相手に平原に下りていくなら不利になることは分かっていましたが、巴拉クは従いました。兵士たちがタボル山を下っていくと、エホバは大雨を降らせます。シセラの軍の戦車は泥の中で動きが取れなくなってしまいました。こうして巴拉クは、エホバを信頼したので勝利を収めることができました。（裁 4:1-7 エフドが死んだ後、イスラエル人は再び、エホバから見て悪いことを行った。2 エホバは彼らをカナンの王ヤビンに引き渡した(d*売った)。ヤビンはハツォルで治めていた。彼の軍隊の長はシセラで、ハロシェト・ハ・ゴイム(*異国の人々のハロシェト)に住んでいた。3 イスラエル人は助けを求めてエホバに叫んだ。ヤビン(d*彼)は車輪に鉄の刃が付いた戦車(d*鉄の戦車)900両を持ち、イスラエル人を20年間ひどく虐げたからである。4 その頃、ラピドトの妻である女預言者デボラがイスラエルを裁いていた。5 彼女は、エフライムの山地、ラマとベテルの間にあるデボラのヤシの木の下に座っていた。イスラエル人は裁きを求めて彼女の所に上ってくるのだった。6 デボラはアビノアムの子巴拉クをケデシュ・ナフトリから呼び寄せ、こう言った。「イスラエルの神エホバは命じました。『さあ、タボル山に進軍(*展開)しなさい。ナフトリとゼブルンから1万人を連れていくように。7 私は、ヤビンの軍隊の長シセラ、彼の戦車と部隊をあなたの所に、キションの川(*ワジ:雨期以外にはたいてい干上がっている谷または川床。川そのものを指す場合もある。泉の水が流れ込んで年間を通じて流れている川)もあった。原語は多くの場合「谷」と訳されている)に連れてきて、あなたを勝たせる』」、10 バラクはゼ

ブルンとナフタリをケデシュに呼び、1万人が彼の後に従った。デボラも一緒だった。[13-16](#) シセラは直ちに、全ての戦車、車輪に鉄の刃が付いた戦車(d*鉄の戦車)900両と、自分と共にいる全ての部隊を集め、ハロシェト・ハ・ゴイムからキションの川(*ワジ)に向かった。14 デボラは巴拉クに言った。「立ち上がりなさい。今日は、エホバがあなたをシセラに勝たせる日です。エホバがあなたの前を進むのではありませんか」。巴拉クは1万人を率いてタボル山を下った。15 エホバは、シセラと彼の戦車と軍隊全てを巴拉クの剣の前で混乱に陥れた。ついにシセラは兵車から降り、自分の足で逃げた。16 バラクは戦車と軍隊をハロシェト・ハ・ゴイムまで追撃した。シセラの全軍は剣によつて倒れ、一人も残らなかった) 私たちも、エホバを信頼し、組織からの指示に従うなら、必ず素晴らしい結果になります。(申 31:6 勇気を出し、強くありなさい。彼らの前で、恐れたりおじけづいたりしてはなりません。あなたの神エホバが共に進んでいくからです。神はあなたを見放したり見捨てたりはしません)

しっかりと立ち続けることを決意する

19. あなたはどんなことを決意していますか。どうしてですか。

19 私たちは、この体制で生きている限り、しっかりと立ち続けるために闘う必要があります。(テモ一 6:11, 12 神に仕えるあなたは、こうしたことから逃げ去りなさい。そして、正しさ、神への専心、信仰、愛、忍耐、温和を追い求めなさい。12 信仰の戦いを立派に戦い、永遠の命をしっかりと捉えなさい。あなたはその命のために招かれ、その命について多くの証人の前で立派に証言しました。[ペテニ 3:17](#) 愛する皆さん、こうしたことを探もって知っているのですから、用心していてください。不法な人々の間違った考えに惑わされて、しっかりと立てなくなる(*安定を失う)ことがないようにしましょう) **迫害**、巧妙な攻撃、神を無視した考え方、欺き、気を散らすものによって決意が揺らがないようにしましょう。(エフェ 4:14 ですから、私たちはもう子供であってはならず、波にもまれるかのように翻弄されたり、風に吹かれるかのようにさまざまに教えに振り回されたりしてはなりません。人に欺かれたり、する賢いたくらみに乗せられたりしてはならないのです) **エホバへの献身の思いを貫き**、どんな時もエホバの命令に従うことが大切です。とはいって、このように確固とした態度を保つのと同時に、分別を示すことも必要です。次の記事では、**エホバとイエスの素晴らしい手本**について考えます。

どのように答えますか

1. クリスチャンはどんな3つの点でしっかりと立つ必要がありますか。

- ・S04 ①偶像崇拜をきっぱり避け、エホバだけを崇拜する。宗教指導者や政治家、スポーツ選手や芸能人を神のように見なして崇拜することもしない。
- ・S05 ②命と血の神聖さに関するエホバのおきてを守る。血は貴重な贈り物である命を表しているので、どんな医療を受けるかについて決める時にも、「**血……を避けている**」ようにというこの命令にしっかりと従う。
- ・S06 ③エホバの高い道徳基準にしっかりと従う。間違った欲望を除き去るために、体の各部をいわば「殺し」思い切った行動を取る必要がある。誘惑を感じる時には、エホバとの絆を傷つけるような考え方や行動をすぐに退けるようにする。

2. サタンは私たちの決意を弱めるために、どんな方法を使いますか。

- ・S08 ①**迫害**。サタンの狙いは、私たちを「むさぼり食[い]」、エホバとの絆を壊すこと。サタンは今でも迫害を続けていて、ロシアなどの国で兄弟姉妹がひどい扱いを受けている。

・S09 ②巧妙な攻撃。ボブ兄弟が大きな手術を受ける時に、輸血を受け入れることはできない決定を外科医は理解を示してくれが、手術の前の晩、家族が家に帰った後、麻酔科医が訪ねてきて、「多分輸血はしないと思うけど、万が一に備えて準備はしておきますね」と言われた。兄弟は拒否し、確固とした態度を貫いた。

・S10-11 ③神を無視した考え方。世間一般の見方に影響されると、私たちもエホバやエホバの基準を気に留めなくなるかも。私たちも間違った考え方の影響を受ける危険がある。また家族や友達が感情に訴えて、妥協させようとして、「自分のしたいようにすればいい」とか、「聖書の道徳基準は時代遅れだ」とか言われるかも。さらに聖書に書かれている事柄を越えたり、個人的な事柄について規則を作って押し付けたりしないように注意する必要ある。

・S12 ④欺き。サタンは「中身のない欺き」や「世の理念」を使って、人々を間違った方向に導き、分裂させている。エホバの組織の指示に従った人たちは不必要的心配や不安を抱えずに済む

・S13 ⑤気を散らすもの。私たちは、「より重要なこと」から目をそらさないようにする必要がある。おいしいものを楽しむこと、気晴らし、仕事などが生活の中で一番大切になっていたり、社会問題や政治問題についてのニュース報道の議論に気を散らされ、心の中で、どちらかを支持する危険ある。サタンはこうした方法を使って、正しいことを行おうとする私たちの決意を弱めようとする。

3. しっかり立ち続ける上で、どんな4つのことが助けになりますか。

・S14 ①献身しバプテスマを受けた理由をじっくり考える。エホバに仕え続けたいという気持ちから、この重要なステップを踏んだ。真理を見つけたと確信し、エホバについて知るにつれて、エホバを愛し、尊敬するようになり、だんだんと信仰が育つて、それまで行ったことを悔い改め、良くない習慣をやめ、エホバの考えに沿った生き方をしたいと思うようになり、エホバが許してくださいたと実感して、とても安心し、集会に出席し、学んだことをほかの人に伝えるようになった。今では、献身しバプテスマを受けたクリスチャンとして、命に至る道を歩み続けたいと思っている。

・S15 ②聖書を学んで思い巡らす。聖書を学んで思い巡らすなら信仰が強まる。エホバの方法に従うなら必ず良い結果になる、という確信も強まる。聖書の深い真理を学んでじっくり考えることは私たちのためになる。

・S16-17 ③揺るぎない心を持つ。ボブ兄弟も、万が一に備えて輸血の準備をしておくと言われた時、揺るぎない心でエホバに頼り、すぐに、「輸血される可能性が少しでもあるなら、この病院を出していく」と答えた。ボブ兄弟は、入院するずっと前から(1)エホバに喜ばれることをしたいと思い、(2)命や血の神聖さについて、聖書や出版物を使ってよく調べ、(3)エホバの指示に従うことがいつまでも続く幸せにつながるということを確信していたので、揺らがない心を持つことができた。

・S18 ④エホバを信頼する。イスラエルの兵士には盾も小やりもなく、900両の戦車を相手に平原に下りていくなら不利になることは分かっていたが、デボラを通して与えられたエホバの指示に従った。兵士たちがタボル山を下っていくと、エホバは大雨を降らせ、シセラの軍の戦車は泥の中で動きが取れなくなってしまった。こうしてバラクは、エホバを信頼したので勝利を収めることができた。